

夏秋野菜の生産(生育)出荷状況について

[第4回野菜需給・価格情報委員会資料]

平成21年産夏秋キャベツ(7～10月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画	20年比	19年比	時期	平年との比較	時期	平年との比較			
	(ha)		トン			播種時期	定植時期	収穫時期				
ホクレン	639	94%	25,891	94%	92%	3月下旬～6月上旬	5月上旬～7月中旬	7月上旬～10月下旬	6月下旬	平年並み	7月下旬～9月上旬	平年並み
全農群馬	2,865	104%	183,820	103%	104%	3月上旬～6月中旬	4月上旬～7月下旬	6月下旬～10月下旬	6月10日前後	やや遅れ気味	8～9月	平年並み
全農長野	830	100%	43,530	105%	113%	3月上旬～7月中旬	4月中旬～8月上旬	7月上旬～10月下旬		やや遅れ気味	7月～9月	平年並み
その他	1,331		43,758									
合計	5,665	101%	296,999	102%	105%							

(注)面積、出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

作付面積:当初計画では前年比101%となっているが、結果的にはほぼ前年並みの作付けになった模様。(群馬も前年並み)

出荷計画:現時点では前年並みの出荷が見込まれる。(前年実績比:群馬101%)

生育状況:主力の群馬を中心に生育は概ね順調。

出荷見通し:北海道で低温の影響が見られるものの、全体では前年並みの見通し。

夏秋キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：ホクレン農業協同組合連合会

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量 (トン)				
		合計	7月	8月	9月	10月
本年	665	27,100	6,000	7,900	7,600	5,600
前年実績比 (%)	94	94	93	95	94	94

(注) 県共販計（ホクレン扱）のグリーンボールを含むキャベツの出荷計画

※面積はホクレン共販（推計）

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

近年の価格低迷の影響から作付面積は減少傾向にある。（前年比94%）

(2) 作付け時期

天候に比較的恵まれ播種は概ね順調に進んだ。（平年並み）

(3) 初期生育状況

概ね順調な生育となっているが、定植後の低温の影響から生育が遅れが見られる地区もある。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

総じて概ね順調ではあるが、5月に入り雨不足から早魃傾向となり生育が遅れている地区もある。5月下旬以降の降雨や曇天による生育遅れも懸念される。

(2) 出荷開始状況

道外出荷は6月下旬頃開始見込み（概ね平年並み）

(3) 出荷ピークの状況

出荷ピーク：7月下旬～9月上旬（例年と同様時期の見込み）

ピーク時の出荷量：面積の減少により前年より減少の見込み

(4) 出荷量予想

出荷計画のとおり（6/4時点見込み数量）

4. 販売対策

高温期における品質の安定・維持

消費拡大については野菜全体の消費宣伝の取り組みとして継続実施

5. 県内主産地における動向

(1) 空知地区

播種・定植ともに順調に進んでいるが、4月の低温の影響から一部遅れが見られる圃場もある。

(2) 胆振地区

5月中旬の雪・霜により生理障害（玉のび等）が発生しており、当初計画より収量減となる見込み。

(3) 十勝地区

5月中下旬の霜・風害や、定植後の早魃の影響から生育が遅れている圃場もある。

夏秋キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農群馬県本部

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量 (トン)				
		合計	7月	8月	9月	10月
本年	2,865	180,000	39,000	52,000	53,000	36,000
前年実績比 (%)	100	101	108	97	98	103

(注) 県共販計のグリーンボールを含むキャベツの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

前年並み。

(2) 作付け時期

4月中旬より定植始まり、6月4日現在で約50%の定植率で前年に比べ若干早めの推移。

(3) 初期生育状況

雨が少ないものの概ね順調。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

概ね順調。前年並み。

(2) 出荷開始状況

6月10日に初出荷の予定。6月下旬より本格出荷。

(3) 出荷ピークの状況

8月下旬～9月上旬にかけて出荷のピークを迎える。

(4) 出荷量予想

前年並みを計画。

4. 販売対策

Gルート販売の拡大・充実

消費宣伝（高原野菜フェア・8月2日孺恋キャベツの日イベント等）など

5. 県内主産地における動向

孺恋村農協：生育状況は概ね順調。前年より出荷量増の見込み。

1750万ケースを目標にGルート販売の拡大・充実を図る。

夏秋キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農長野県本部

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量 (トン)				
		合計	7月	8月	9月	10月
本年	730	39,500	11,500	9,000	10,000	9,000
前年実績比 (%)	101	100	99	99	97	105

(注) 県共販計のグリーンボールを含むキャベツの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

前年並み

(2) 作付け時期

平年並み

(3) 初期生育状況

キャベツの主力産地の北佐久はの一部低温の影響を受けやや遅れ気味。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

2. (3) のとおり。今後の気象による。

(2) 出荷開始状況

グリーンボールの中信地区はほぼ昨年並みに出荷開始された。

キャベツは北佐久地区がやや遅れ気味。

(3) 出荷ピークの状況

7月および9月が出荷量のピークとなる。

(4) 出荷量予想

前年並みを見込む。

4. 販売対策

販売対策として、出荷最盛期の店頭集中販売促進（試食宣伝等によるメニュー提案）、食品メーカーとのタイアップ企画、一般消費者向け懸賞キャンペーン企画、長野県農産物フェアなど消費喚起を促す企画を消費地において積極的に実施する予定である。

夏秋キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

農協名：JA 孺恋村

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量 (トン)				
		合計	7月	8月	9月	10月
本年	2,770	175,000	38,521	49,843	50,961	35,675
前年実績比 (%)	100	101	109	97	98	104

(注) 県共販計のグリーンボールを含むキャベツの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

作付面積については、キャベツ導入以来増加してきたが、平成15年以降は横ばい推移。

(2) 作付け時期

4月中旬より定植が始まり5月末で約50%の作付け。前年より若干早めに推移。

(3) 初期生育状況

5月中旬に凍霜害があり若干の遅れがあるものの概ね良好。昨年並み。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

概ね良好。前年並み。

(2) 出荷開始状況

初荷は6月10日前後。6月中旬は前年より少なめ。6月後半は前年より多めを見込む。

(3) 出荷ピークの状況

出荷ピークは8・9月だが、7月については前年より増量となる。

(4) 出荷量予想

前年と作付面積は変わっていないので、出荷量については前年と同等と思われるが、出荷計画の前年比が101%となっているのは、前年市場隔離を行ったため。

(参考)

平成 21 年 6 月 11 日

野菜需給・価格情報委員会

(聞き取り)

先行産地の状況（春キャベツ、平成 21 年 6 月 10 日現在）

1 農協名：

JA ちばみどり（木内部長）

2 これまでの出荷状況・出荷量

生育状況は順調。

出荷量は、

3 月は低温などの影響もあり少なめの推移。

4 月は前年並みの出荷量。

5 月は下旬で出荷の増大があり前年を超える出荷量。

3 今後の出荷見込み

6 月第 1 週は日量 8～10 万ケースの出荷が続き、ピーク期となり価格を下げた。第 2 週は量的に落ち着いてきている。

6 月は 80 万ケース（前年比 80%）の出荷を計画している。切り上がりは 7 月上旬が見込まれるが、市況の展開次第で早くなる可能性がある。

4 その他

夏果実（スイカ・メロン）の販売が近年低調なため、露地野菜の端境期の価格上昇を狙った（7 月・10 月）の作付け意欲が強い傾向がある。市況次第で 7 月の出荷量が増えてくる。

[第4回野菜需給・価格情報委員会資料]

平成21年産夏秋レタス(6～10月)の作付面積・生育状況の概要

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	(ha)		トン									
全農岩手	337	102%	6,340	104%	98%	3月上旬～7月下旬	4月上旬～8月中旬	5月中旬～10月上旬			6月下旬～7月上旬	平年並み
全農群馬	550	101%	17,385	101%	95%	1月下旬～7月下旬	3月下旬～8月上旬	5月中旬～10月下旬	4月中旬	前年より若干早い	6月～7月	平年並み
全農長野	4,800	102%	133,900	101%	100%	2月上旬～8月中旬	3月中旬～9月中旬	5月上旬～10月下旬		高冷地は前年より早い	6月下旬～9月下旬	平年並み
その他	842		19,479									
合計	6,529	102%	177,104	103%	100%							

(注)面積、出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

作付面積:近年の作付け動向は横ばい推移である。今年もほぼ前年並みの作付けとなった模様。

出荷計画:前年が平年をやや下回る出荷量だったこともあり前年をやや上回る計画。(前年実績比:長野104%)

生育状況:生育は概ね順調で平年並みの生育状況。

出荷見通し:平年並みの見通し。ただ夏のレタスは定植から収穫までの期間が短く、出荷状況は今後の気象状況に大きく影響をうける。

夏秋レタスの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月8日時点）

出荷団体名：全農岩手県本部

1. 作付面積と出荷計画（平成21年4月15日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量（トン）					
		合計	6月	7月	8月	9月	10月
本年	329	5,378	1,570	1,625	952	912	318
前年実績比（%）	100	100	101	101	100	99	99

（注）県共販計のリーフ系レタスを含むレタスの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

（1）作付け動向

- ・近年概ね横ばいで推移。

（2）作付け時期

- ・定植期に雨が多く、全体的に前年よりやや遅れ気味。

（3）初期生育状況

- ・定植が遅れた分、生育も前年より遅め。全体に乾燥気味。

3. 生育状況・出荷見通し

（1）生育状況

- ・乾燥のため、生育は前年よりやや遅め。

（2）出荷開始状況

- ・春レタスに引き続いての出荷になる。

（3）出荷ピークの状況

- ・6月下旬から7月上旬にかけてピークとなる。

（4）出荷量予想

- ・面積がほぼ昨年並みのため、出荷量も昨年並みになる見込み。

4. 販売対策

- ・相対・直送取引の拡大。
- ・品質の向上と出荷体制の改善。

5. 県内主産地における動向

新しいわて

- ・全体的に大玉の比率が大きい。

夏秋レタスの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農群馬県本部

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量（トン）					
		合計	6月	7月	8月	9月	10月
本年	550	17,610	4,535	4,115	3,885	2,765	1,505
前年実績比(%)	101	106	107	102	105	108	84

（注）県共販計のリーフ系レタスを含むレタスの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

ほぼ前年並み。

(2) 作付け時期

前年・平年とほぼ変わらず3月下旬から定植開始。

(3) 初期生育状況

作柄、生育ともに順調。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

4月下旬の低温の影響で一部品質不良があるも全体的には作柄、生育ともに順調。

(2) 出荷開始状況

初出荷は4月中旬で前年より若干早い。増え方はほぼ前年と変わらず。

(3) 出荷ピークの状況

例年通り6～7月にかけてピークを迎える見込み。

(4) 出荷量予想

前年比106%と増を見込む。

4. 販売対策

Gルート販売の拡大・充実

5. 県内主産地における動向

(1) 利根沼田農協：糸之瀬地区で非結球レタスを結球レタスに切り替え。

(2) 片品村農協：大根栽培生産者の切り替えがあり出荷期間が前後に延長。

夏秋レタスの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：長野県本部

1. 作付面積と出荷計画（平成21年6月4日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷計画数量（トン）					
		合計	6月	7月	8月	9月	10月
本年	3,361	137,500	24,000	34,700	33,300	35,200	10,300
前年実績比(%)	102	104	116	98	103	104	102

（注）県共販計のリーフ系レタスを含むレタスの出荷計画

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

前年並み、近年は横ばい推移

(2) 作付け時期

高冷地地帯の定植作業が開始する4月は、ほ場状態が良好であったため、極めて順調に行われた。昨年比では1週間ほど進んだ。（昨年状態悪かった）

(3) 初期生育状況

4月中旬までは気温は高め、降雨も適度に入る。4月下旬に凍霜害の被害を受けたが、定植面積は少ない。5月以降は順調に定植作業が行われている。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

5月は、高温と低温の寒暖差が大きい状況であった。作柄は平年並み。

(2) 出荷開始状況

高冷地は前年より早い開始、数量も前年を上回っている。大玉傾向で箱数が伸びている。一部で被覆した作型と露地作型で生育差が出ている。

(3) 出荷ピークの状況

6月中旬から非結球が最初のピーク、6月下旬から結球レタスの最初のピークか。全体としては、6月下旬から9月下旬までが最盛期となる。7月は気象災害が無ければ、安定した出荷が続く見込み。

(4) 出荷量予想

夏秋期に安定した出荷量が確保されれば、昨年を上回る見通しだが、6月の梅雨、夏の高温の度合い、秋雨、台風の上陸など気象状況で作柄・出荷量が一変する最も厳しい時期の生産のため予想は難しい。特にレタスは温度や降水量で作柄変動が大きい。

4. 販売対策（本年産の販売対策および販促・消費拡大等の取組予定）

販売対策として、出荷最盛期の店頭集中販売促進（試食宣伝等によるメニュー提案）、食品メーカーとのタイアップ企画、一般消費者向け懸賞キャンペーン企画、長野県農産物フェアなど消費喚起を促す企画を消費地において積極的に実施する予定である。

夏秋レタスの生産（生育）出荷状況について（平成 2 1 年 6 月 4 日時点）

1 農協名： 長野八ヶ岳農業協同組合

2 生産（生育）出荷状況

(1) 生産状況

・ 作付け面積

約 1,400 h a （ほぼ前年並み）

・ 作付け時期

播種時期は前年並みに始まったが、早物はやや多い。マルチ張り等畑作業は、4月～5月
適当な雨と好天続きで順調に進んだ。定植も前年並みに4月から始まり、8月中旬まで定
期的に継続。

(2) 生育状況・出荷量

・ 生育状況

マルチ張りは順調で、畦内の状態は良好。4月下旬大風の後、凍霜害（4月下旬・5月中旬）
により欠株と生育の不揃いある。当面は出荷の波あり、等級も幅広い。
今後は天候により、生育作柄は変化するが、安定生産に向けて栽培管理に努める。

・ 出荷時期

播種・定植・出荷もほぼ昨年並みに始まったが、全体的には春は前進化し、秋は延びて作
期は拡大している。6月半ばから量的に増加。

・ 出荷のピークの時期

例年の通り、6月下旬～9月下旬まで出荷最盛期となる。

・ 出荷計画と前年実績との比較

① 7月 計画 15.000t やや減

② 8月 計画 15.500t やや増

③ 9月 計画 13.200t やや増

④ 10月 計画 2.500t 前年並み

※今後の出荷量は、作柄による。

作柄は天候によって激変する。

（梅雨、ゲリラ、高温等）

3日後に激変するのもレタス。

[第4回野菜需給・価格情報委員会資料]

平成21年産夏秋野菜(白菜・人参・大根・玉葱)の作付面積・生育状況の概要

1. 夏はくさい(7~9月)

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	(ha)		トン									
ホクレン	274	102%	10,793	102%	105%	3月下旬~7月上旬	5月上旬~5月下旬	6月下旬~10月上旬	6月中旬	平年並み	8月~9月	平年並み
全農群馬	88	100%	3,130	98%	100%	2月上旬~7月中旬	3月中旬~8月中旬	5月中旬~10月下旬	5月下旬		6月中旬~7月	平年並み
全農長野	1,805	100%	100,800	102%	101%	4月上旬~6月中旬	4月中旬~8月下旬	6月上旬~10月下旬		前年並み	7月中旬~10月	平年並み
その他	0		0									
合計	2,167	100%	114,723	102%	101%							

(注)面積、出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19,20年実績比。

コメント

作付面積:全体的には前年並みの作付けとなった模様。

出荷計画:現時点では平年よりやや多く前年を上回る見通し。(前年実績比:長野104%)

生育状況:主力の長野を中心に順調な生育。

出荷見通し:順調な出荷が見込まれる。長野は7月中旬~下旬にかけて最初の山となる。

2. 秋にんじん(8~10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	(ha)		トン									
ホクレン	2,377	101%	89,070	107%	102%	4月上旬~7月中旬		7月中旬~10月下旬	7月下旬		8月下旬~10月上旬	平年並み
全農青森	135	101%	4,650	104%	105%	4月中旬~7月中旬		8月上旬~10月下旬	6月20日前後		6月下旬~7月下旬	平年並み
その他	1,541		51,988									
合計	4,053	100%	145,708	108%	105%							

(注)面積、出荷量の計画は3月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19,20年実績比。

コメント

作付面積:全体的にほぼ前年並みの作付けとなる模様。

出荷計画:少なめだった前年実績より多く平年並みを見込む。(前年実績比:ホクレン105%)

生育状況:概ね順調だが、早魃の影響が懸念される。

出荷見通し:現時点では平年並みの出荷を見込む。

3. 夏だいこん(7～9月)

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	(ha)		トン									
ホクレン	1,531	101%	63,662	103%	99%	4月中旬～8月上旬		6月下旬～10月下旬	6月下旬		8月下旬～9月	平年並み
全農青森	490	101%	19,150	101%	95%	5月上旬～7月上旬		7月上旬～11月中旬	5月21日	平年並み	6月中旬～下旬	平年並み
全農岐阜	130	100%	6,520	115%	124%	4月下旬～8月上旬		7月下旬～10月中旬	6月16日ごろ	前年並み	7月上旬	
その他	813		15,667									
合計	2,964	101%	104,999	104%	97%							

(注)面積、出荷量の計画は3月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

作付面積:ホクレンの面積はやや増加を見込むが、北海道全体の作付面積は横ばいを見込む。

出荷計画:平年並みを見込み、前年をやや上回る計画。(前年実績比:ホクレン103%)

生育状況:概ね順調である。

出荷見通し:現時点で前年実績をやや上回る見通し。

4. たまねぎ(4～10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画					平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	面積		出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	前年比	計画		19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	(ha)		トン									
ホクレン	4,120	100%	208,640		99%	2月下旬～3月下旬	4月中旬～5月下旬	8月中旬～10月下旬	8月盆前後	平年並み	9-4(10月)	平年並み
全農兵庫	1,380	96%	71,549		97%	9月中旬～10月中旬	11月上旬～2月下旬	5月上旬～6月下旬	4月下旬	平年よりやや早い	5-10(7,8月)	平年並み
佐賀県農協	1,987	107%	91,126		111%	9月上旬～9月下旬	11月中旬～12月中旬	3月下旬～6月中旬	3月上旬	やや遅い	4-9(5-8月)	平年並み
その他	3,270		147,071									
合計	10,757	101%	518,386		102%							

(注)面積、出荷量の計画は前年9月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19年比は19年実績比。

コメント

作付面積:ホクレンの作付けは、平成19年以降横ばい推移。全体でもほぼ前年並みの作付けとなった模様。

出荷計画:6月から10月の出荷についてはほぼ前年並みを計画。(前年実績比:ホクレン101%、兵庫96%、佐賀104%)

生育状況:現時点での予測は困難だが、北海道は低温や早魃の影響で平年作となり、豊作基調だった前年をやや下回る恐れもある。

兵庫は小玉傾向である。佐賀は6月以降の出荷分については概ね順調。

出荷見通し:現時点では、前年並みの出荷が見込まれる。